

クイズ タイムゾーン!!

Q1

外は台風接近による暴風雨、あなたはどうしますか？



① 防災グッズを買いに行く



② 地域の情報を注意して聞く



③ 近くの川を見に行く

Q2

暴風雨で防災放送が聞こえない！あなたはどうしますか？



① 窓を開けて聞く



② 外に出て聞く



③ 戸別受信機を設置

Q3

放送でご近所の独り暮らしの方からSOSがきました。どうしますか？



① すぐに駆けつけて様子を確認し連絡する



② 他の人が動くと思ひ保留する



③ 聞かなかったことにする

Q4

むこう三軒両隣ネットワークに最も大切なのはどれ？



① 日常からの声かけ、見守り、気づき



② 用事があるときだけ付き合う



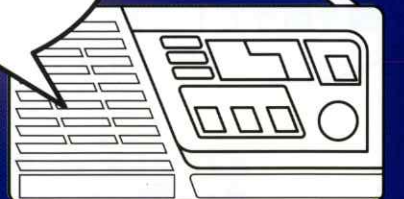
③ お互いに干渉しない

有線放送を
地域情報や防災で役立つ**無線放送へ!!**

日常は地域の行事や地域情報を放送。

災害時など、いざというときには、あなたの命を守る大切な情報を放送します。

区長です!!
川が氾濫しています!!
今すぐ避難してください!!



★クイズのベストアンサー
Q1② Q2③ Q3① Q4①

○主な課題

急激な人口減少と高齢化の進展で令和3年に過疎地域に指定されました。加えてコロナ禍等で近隣のお付き合いも次第に疎遠になっています。また、多発する豪雨災害や地震による大規模被害が予想されています。

平成29年7月九州北部豪雨災害では甚大な被害と住民の尊い命や財産が奪われました。災害復旧・復興には多くの関係機関と延べ5万人のボランティア、応援職員、義援金などの支援を受け、国、県、市、地域が一体となって復旧復興に取り組んできました。

地震災害や豪雨災害等に対する備えづくりとともに、少子高齢化に対しては「むこう三軒両隣ネットワーク」による支援体制の確立が重要になります。また、生活環境の維持と整備、地域活性化の推進など、多様な地域課題の解決と継続した取り組み、行政や各種団体等との役割分担や協働により住民の命を守り、安全・安心な暮らしと持続可能な地域づくりが大切です。

○解決への取り組み

① 地域の「きずな」と住民の命を守るために

豪雨災害による死者の多くは高齢者です。また、警固断層や南海トラフ地震では朝倉市の被害が最も多いと想定されています。

屋外の防災行政無線は大雨や台風時には聞こえず役に立ちません。テレビやラジオ、携帯では詳細な地域情報は入手できません。高齢者は特に入手が困難です。有線放送は老朽化しており、既に製造もされていません。

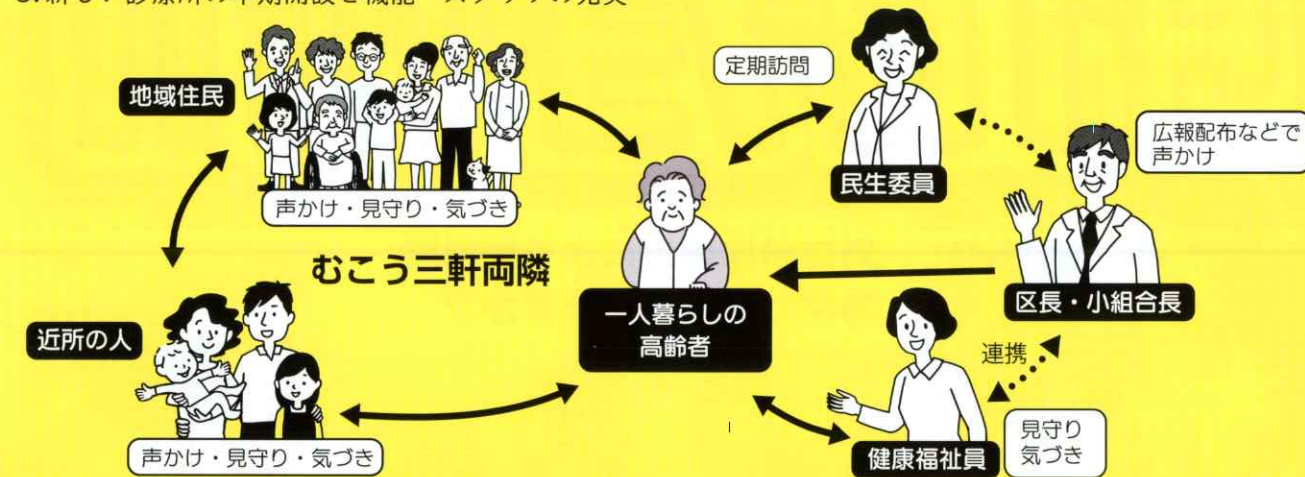
1. 平成29年7月の豪雨で立証されたように、本庁一括の情報では住民の命は救えません。このため、コミュニティ協議会や地域の区会長や消防団員から身近な情報を発信する新たなシステムを整備する必要があります。
2. 日常から地域の情報を流すことで、疎遠になっているむこう三軒両隣の絆あるいは伝統行事等の復活・維持を図ります。
3. オプションで「グリップコール」「サポーターコール」が可能。【イラスト参照】



② むこう三軒両隣ネットワークと健康づくり

地域の高齢化率は40%と全国平均より著しく高く、今後も急速に進展します。住み慣れた地域のなかで生活していくためには、むこう三軒の声かけや見守り支援などのネットワークづくりが重要です。

1. 民生委員、区会長、健康福祉員との連携
2. 独居高齢者への配食サービスの充実
3. 新しい診療所の早期開設と機能・スタッフの充実



③ 自主防災と個別避難計画

災害の規模が大きくなるほど救助活動開始に時間を要しますので「自助」「共助」により自分の命を守ることやむこう三軒両隣の支援が重要になります。また、消防団の団員確保が難しくなっています。地区内で自衛消防隊等の組織づくりと消火や避難訓練が大切になっています。

1. 個別避難計画の策定
2. 防災士と自主防災組織づくり
3. むこう三軒両隣の支援
4. 自助、共助等の防災意識の向上への講座、研修

④ 水車の里を中心にした地域振興

食品衛生法の改正により、各家庭で作っていた漬物などが販売できません。また、災害等で疲弊している地域で水車の里を中心にした振興策が必要です。

1. 改正法の基準を満たす施設の整備
2. 三連水車の里に拠点となる複合施設の整備
3. 地域住民の雇用とお年寄りの生きがいづくり
4. トイレ及び大型バス駐車場の整備
5. 三連水車の里から山田堰までの遊歩道の整備
6. 山田堰周辺のサイン整備



⑤ その他の取り組み

- ・女性の社会参画と活躍の場づくり
- ・災害復旧に伴う安全柵の整備
- ・筑後川への排水機場の設置
- ・朝倉支所を丸ごとサテライトオフィスに
- ・生活環境づくりと地域環境整備の推進
- ・地域活性化の推進
- ・住民の健康づくり
- ・青少年の健全育成

